

江陵 全国届かず

男子 納主将(帯翔陽)の東海大札幌V

春高バレー道予選

【江別】「春高バレー」の第70回全日本高校選手権大会道代表決定戦(道バレーボール協会など主催)最終日は18日、江別市の野幌総合運動公園総合体育館で準決勝、決勝を行い、女子

【女子】▽準決勝
札幌大谷2(25|25|17|22)0江陵

の江陵(道協会推薦3位)は準決勝で札幌大谷(同2位)に22-25、17-25で敗

れ、初の全国大会出場を逃した。江陵は4年連続の3位。男子は帯翔陽中出の納彩杜(3年)が主将を務める東海大札幌(同1位)が決勝で道科学技術大(同2位)に22-25、17-25で敗

またもや準決勝の壁

最後にサービスエースを決められ、両手の拳を握り締め、無念の表情を見ると、江陵の福田まどか監督は「届きそうに届かない

決勝進出、そして全国の舞台。今回もまた4強脱出への厚い壁を打ち破ることができなかった。

「いつもの負けるときの試合内容だった。第1セットを取り切れなかったのが全て」と福田監督は敗因を振り返った。

第1セットは競り合いの中で出てしまうレシーブミスなどで22-25で落とした。第2セットもリズムを取り戻せず、連係ミスで空いたスペースにスパイクを決められ、17-25と突き放された。

平栗弥々主将(3年)は「試合の後半はつまらないミスが続いてしまった。練習の成果が出ていたけど、相手が一枚上だった」と言う。前回の覇者・札幌大谷だけに、小さなミスも決して見逃してくれなかった。

江陵の4強は4年連続5度目。このうち2012年度、16年度を含む計3度も札幌大谷に決勝進出を阻まれた。

19年4月から道立の幕別と事実上の統合校になる。来年度が「江陵」としてのラストシーズンになる。



【女子準決勝・江陵―札幌大谷】相手スパイクをブロックする江陵の⑦藤原千怜と④平栗弥々主将